

テーブルトップスタンド

SU-THS1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

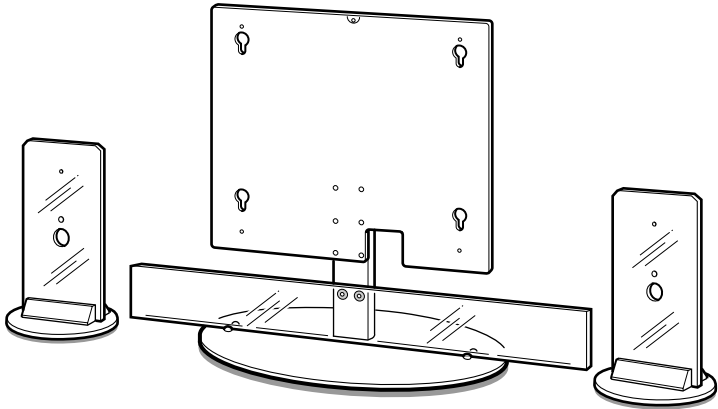
**警告** 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテーブルトップスタンドはソニー製の指定機器専用です。下記指定機器以外には使わないでください。

指定機器：フラットパネルカラーテレビ（KZ-42HS500）

Sony Corporation © 2001 Printed in Japan



注意

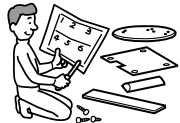
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

スピーカースタンドは平らな面に設置する  
傾斜のあるところに設置すると、スピーカースタンドが転倒または落下し、けがの原因となることがあります

スピーカーコードを足でひっかけない  
スピーカースタンドが転倒または落下して、けがの原因となることがあります。

指定機器以外の物を掛けない  
このテーブルトップスタンドは指定機器専用です。指定機器以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立ては、組み立て手順に従ってしっかり組み立てる  
ネジがゆるんでいたたり、抜けていたりすると、テーブルトップスタンドが傾いて転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。



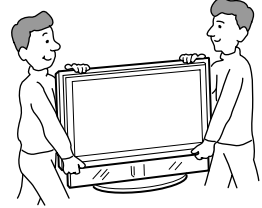
取り付け手順に従って、ディスプレイユニットをしっかりと取り付ける  
ディスプレイユニットがしっかり取り付けられていないと、ディスプレイユニットが落下し、けがの原因となることがあります。

組み立てるときには、手や指を傷つけないように注意する  
テーブルトップスタンドを組み立てるときや、ディスプレイユニットを取り付けるときには、手や指を傷つけないようにご注意ください。

スタンドを動かすときのご注意

テレビスタンドを動かすときには

- ディスプレイユニットの両端をささえるようにして持ち上げて、設置してください。



- アクリル板などテレビスタンド部分を持って移動しないでください。

スピーカースタンドを動かすときには

- スピーカースタンドを持って動かしてください。
- スピーカー本体を持って動かさないでください。
- スピーカースタンドを動かすときは、スピーカーコードにご注意ください。

使用上のご注意

- 組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため、梱包材などを敷いてください。

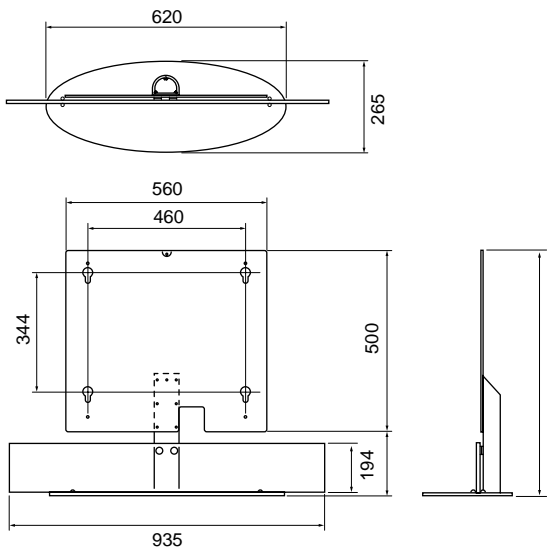
- 設置場所は、堅くて平坦な面にしてください。  
設置場所によっては、テーブルトップスタンドの変形や傾きが生じることがありますので、下記のことをお守りください。
  - 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
  - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
  - 高温多湿の場所や屋外に置かない

- お手入れをする際には、柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品は、テーブルトップスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

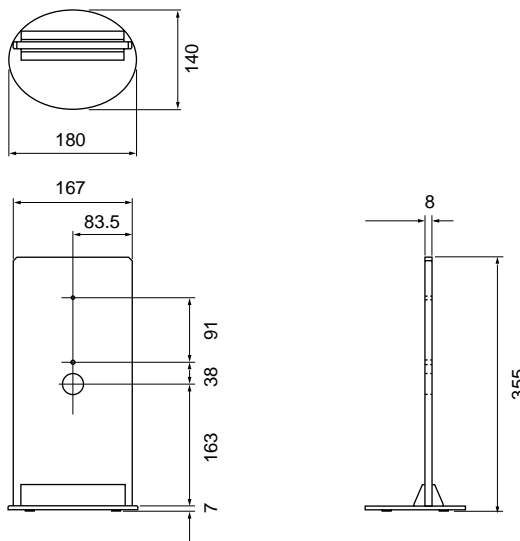
主な仕様

単位：mm  
質量：SU-THS1テレビスタンド：12.7kg  
SU-THS1スピーカースタンド：1.6kg

テレビスタンド



スピーカースタンド



ディスプレイユニットの電源映像ケーブルを挟まないようにする

- ディスプレイユニットをテレビスタンドに取り付けるとき、電源映像ケーブルを挟みこまないようにしてください。電源映像ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。
- テレビスタンドを動かすとき、電源映像ケーブルを踏まないようにしてください。電源映像ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。



はずれ防止ネジは必ずつける  
テレビスタンドを移動したときに、ディスプレイユニットが落下し、けがの原因となることがあります。



テレビスタンドは平らな面に設置する  
傾斜のあるところに設置すると、テレビスタンドが転倒し、けがや破損の原因となることがあります。



安定している台の上に載せる  
不安定な台の上に載せるとバランスを崩して転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。



転倒防止の処置をする  
転倒防止の処置をしないと、地震などにより、ディスプレイユニットが転倒し、けがの原因となることがあります。テレビスタンドと壁などの間に転倒防止処置を行ってください。



テレビスタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしない  
テレビスタンドが転倒し、けがの原因となることがあります



危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破壊などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒または落下などにより死亡や大けがなど人身事故につながるがあります。



注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしったり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災

感電

禁止



危険



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒**や**落下**により**死亡**や**大けが**の原因となります。



警告



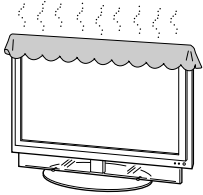
火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒**や**落下**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

ディスプレイユニットの通風孔をふさがない  
テレビスタンドの上に布をかけてディスプレイユニットの通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



取扱説明書で指定された方法で移動する  
誤った方法で移動すると、テレビスタンドが転倒または落下して、けがの原因となることがあります。



スピーカーコードをテーブルトップスタンドで挟まないようにする  
スピーカーコードに傷がついて、火災や感電の原因となることがあります。



ディスプレイユニットの電源映像ケーブルを足でひっかけない  
テレビスタンドが転倒し、けがの原因となることがあります。



ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35  
お問い合わせはお客様ご相談センターへ  
●ナビダイヤル……………0570-00-3311 受付時間：月～金 9:00～20:00  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)  
●携帯電話・PHSでのご利用は……03-5448-3311 土・日・祝日 9:00～17:00  
●Fax ……………0466-31-2595

http://www.sony.co.jp/  
この説明書は再生紙を使用しています。

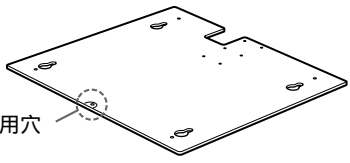
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# テレビスタンドを組み立てる

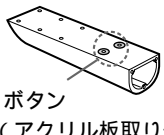
## 手順1：組み立てに必要な部品を確認する

- 組み立てる前に④ドライバーをご用意ください。
- 金属製のフレームを取り付けるときは、けがをしないよう充分ご注意ください。

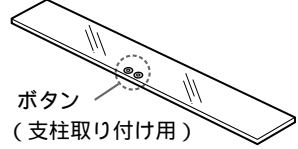
メインブラケット（1枚）



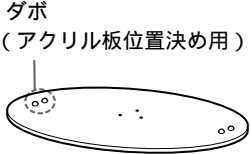
支柱（1本）



亚克力板（1枚）



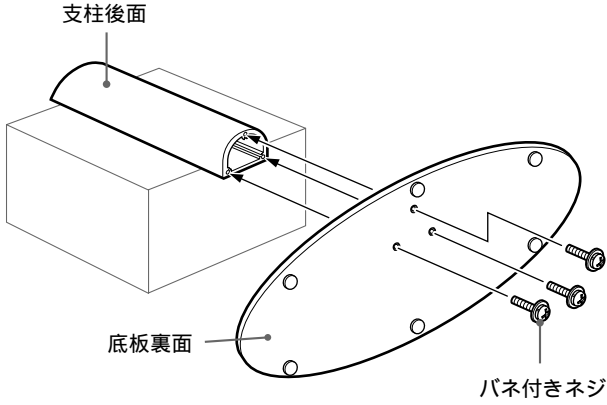
底板（1枚）  
クッション付きの面が下面です。



名 称	数量	名 称	数量
はずれ防止ネジ	4	平ネジ	6
④ 5x25 mm		④ 5x16 mm	
パネ付きネジ（大）	3		
④ 5x16 mm			

## 手順2：底板に支柱を取り付ける

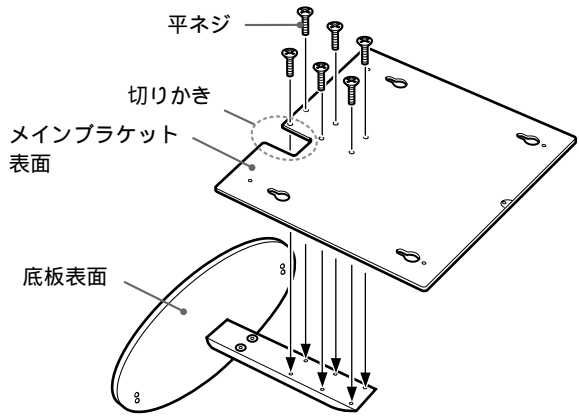
ダボに合わせて底板に支柱をはめ、パネ付きネジ（3本）で固定する。支柱裏側は半円形で安定性が悪いので、作業は2人以上で支えながら行ってください。強度を確保するため、ネジはゆるみのないよう強い力で締め付けてください。



☝ ちょっと一言  
箱などを利用すると、本機や床面を傷つけず、安定した状態で作業できます。

## 手順3：メインブラケットを取り付ける

メインブラケットと支柱のネジ穴を合わせ、平ネジ（6本）で固定する。作業は2人以上で支えながら行ってください。6本の平ネジで一度仮留めをしてから、強度を確保するため、強い力で締め直してください。



- 支柱と底板をしっかりと支えて、安定させた状態で取り付けてください。
- メインブラケットには表面と裏面があります。右図のように、切りかきが中心より右側にくる面を表にして取り付けてください。

## 手順4：ディスプレイユニットを取り付ける

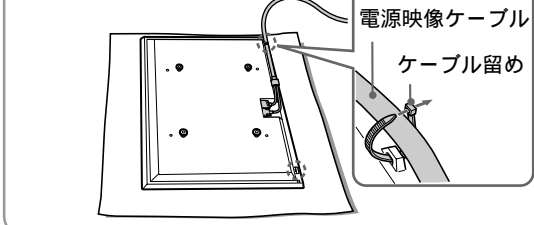
**危険** 全ての作業が終わるまで、電源映像ケーブルをデジタルAVユニットに接続しないでください。

1 ディスプレイユニットをテレビスタンドに掛ける。

- ディスプレイユニットに付属の電源映像ケーブルをディスプレイユニットにつなぐ。

☝ ちょっと一言  
電源映像ケーブルの接続については、フラットパネルカラーテレビ（KZ-42HS500）の取扱説明書をご覧ください。

☝ 電源映像ケーブルをディスプレイユニットの後面に固定するには  
ディスプレイユニットに付属のケーブル留めを、ディスプレイユニットの背面の通し穴に通して、電源映像ケーブルを結び付けます。通し穴は左右2か所ありますので、どちらか都合の良いほうを使ってください。  
ディスプレイユニットの通風孔をふさがないように、電源映像ケーブルは、ややゆるませて固定してください。



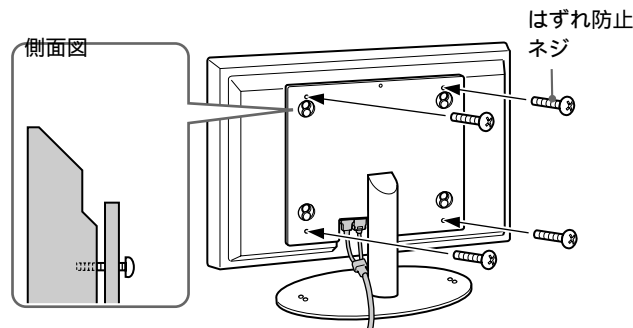
- ディスプレイユニットの上下両端を2人以上で持って、ディスプレイユニット後面のフックをメインブラケットの穴に差し込み、4か所の穴に全てのフックが掛かったことを確認する。

- メインブラケットの穴に差し込んだフックを、まっすぐ下におろして固定する。

- ディスプレイユニットは、穴の底までしっかりと差し込んでください。取り付け後は、ディスプレイユニットが平行にかかっているかご確認ください。
- ディスプレイユニットを取り付けるときは、テレビスタンドが動かないように注意してください。

2 はずれ防止ネジ（4本）を使ってディスプレイユニットを固定する。

ディスプレイユニットとメインブラケットの間が少しあいた状態になります。



## 手順5：亚克力板を取り付ける

支柱に亚克力板を取り付ける。

- 電源映像ケーブルをメインブラケットの切りかきに通す。

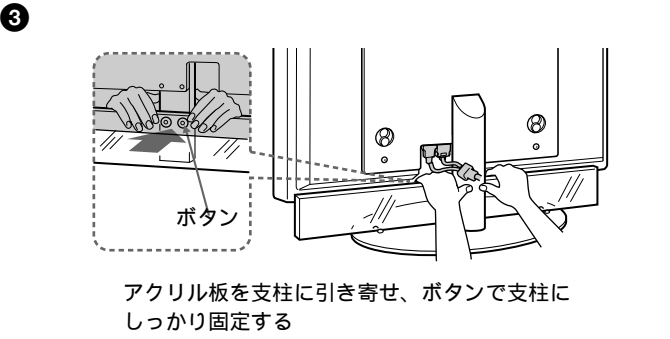
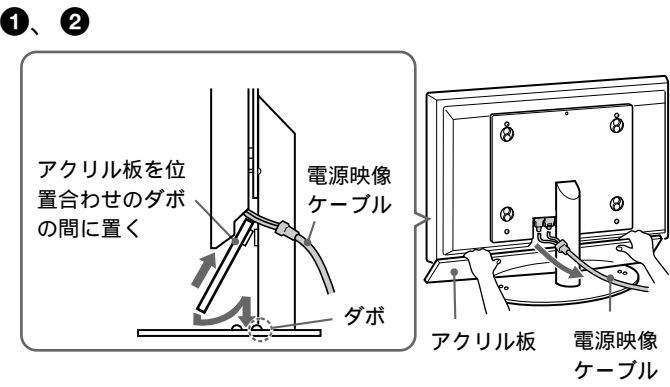
☝ ケーブル留めで電源映像ケーブルを留めている場合  
ケーブルが左右から出せるので、切りかきを通す必要はありません。

- 亚克力板をディスプレイユニットと支柱の間に差し込み、底板のダボの間にたてる。

- 支柱裏側から親指で支柱を支え、残りの指で亚克力板を支柱に引き寄せ、亚克力板裏面のボタンを支柱前面のボタンに取り付ける。

### ご注意

- 初めて亚克力板を取り付けるときは、ボタンが固いことがあるので、「カチン」と音がるまではめてください。
- ディスプレイユニットと亚克力板の間に、ケーブルを挟まないようにしてください。



## 手順6：転倒防止の処置をする

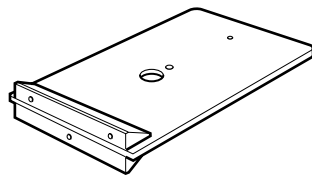
メインブラケット上部の転倒防止処置穴にワイヤーなどを通して壁に取り付け、スタンドを固定する。

# スピーカースタンドを組み立てる

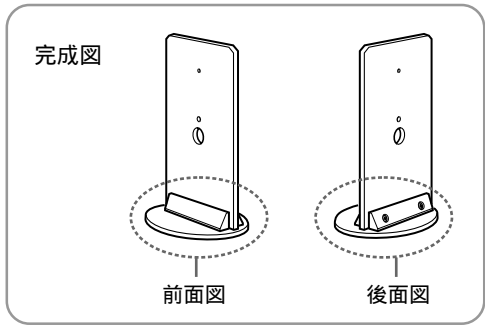
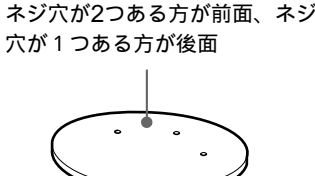
## 手順1：組み立てに必要な部品を確認する

- 組み立てる前に④ドライバーをご用意ください。
- 金属製のフレームを取り付けるときは、けがをしないよう充分ご注意ください。

メインブラケット（1枚×2）



底板（1枚×2）  
クッション付きの面が裏面です。

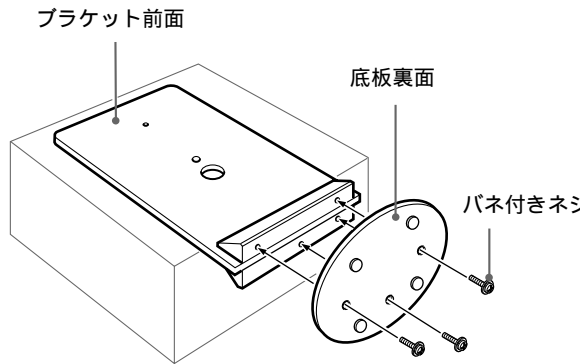


名 称	数量	名 称	数量
スぺーサー用ネジ	2	パネ付きネジ（小）	6
④ 3x16 mm		④ 4x12 mm	
スピーカー用ネジ	2	スぺーサー	2
④ 5x16 mm			
チョウナット	2	スピーカーパッド （スピーカー本体付属）	2
ナイロンワッシャー （スピーカー本体付属）	2		

## 手順2：底板にブラケットを取り付ける

底板とブラケットのネジ穴を合わせ、パネ付きネジ（3本）で固定する。強度を確保するため、ネジは強い力で締め付けてください。ブラケットは、安定した机などの上に置き、固定した状態で底板を取り付けます。

☝ ちょっと一言  
箱などを利用すると、本機や床面を傷つけず、安定した状態で作業できます。

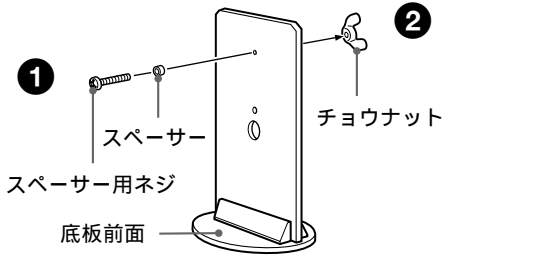


## 手順3：スピーカーを取り付ける

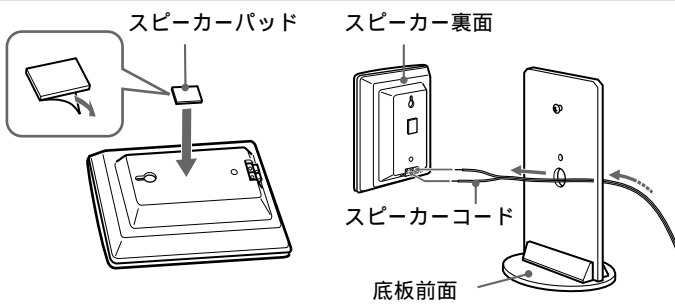
- 1 スぺーサーをスぺーサー用ネジに取り付けてから、メインブラケット前面の一番上のネジ穴に通す。

- 2 チョウナットで、スぺーサー用ネジを締める。

チョウナットを締めるときは、回転しないよう④ドライバーでスぺーサー用ネジを押さえてください。



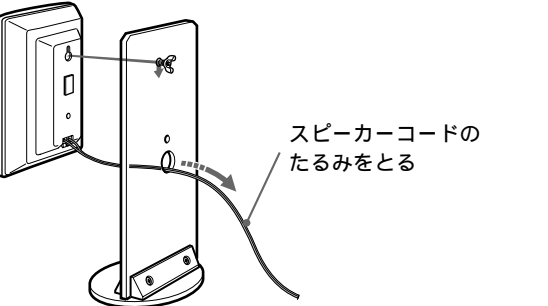
- 2 スピーカー本体付属のスピーカーパッドをスピーカー本体裏面に貼り、スピーカーコードをメインブラケットの一番下の穴に通し、スピーカーコードをスピーカー本体に接続する。



- 3 1でメインブラケットに取り付けたスぺーサー用ネジに、スピーカーを掛ける。スピーカーコードがたるまないように引っ張りながら、スピーカーを掛けてください。

### ご注意

スピーカーコードを引っ張り過ぎて、コードをスピーカーから抜いてしまわないようご注意ください。



- 4 スピーカー本体付属のナイロンワッシャーとスピーカー用ネジをブラケット背面から入れ、スピーカーをスピーカー用ネジで固定する。

